

日誌

日誌 06月30日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 37.0 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	会議
		会議
	10:00	在宅
		在宅
	11:00	会議
		服薬指導
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	向精神薬
		向精神薬
	14:00	薬歴
		薬歴
	15:00	薬歴
		薬歴
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月30日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

在宅を実施している患者さんのお宅を訪問した。患者さんが毎年育てているトマトの収穫をお手伝いさせていただいた。実際に患者さんの生活の一部に関わる体験をして、薬剤師は服薬指導だけでなく、生活全体も把握するものだ実感した。トマトの収穫だけでなく、患者さんの体調の変化についても確認した。指導薬剤師の方から、患者さんの好きなことを知ることは、重要な情報となると教えていただいた。例えば、毎年トマトを育てていたのが急に中断された場合、身体的・精神的な不調がある可能性を早期に察知できるかもしれない。患者さんの生活を把握することが、小さな変化に気づく手がかりとなることを学んだ。

糖尿病の患者さんの服薬指導を実施した。患者さんご本人ではなく、代理の方に対して、体調の変化、検査値について確認した。検査値からアルブミンの低下が見られていたため、これに対して指導薬剤師の方が食事内容について詳しく確認していた。この話題をきっかけに、患者さんの日常生活についてさまざまなお話をしてくださった。薬歴を入力する際に、トラゼンタの効果と副作用のモニタリングを行った。副作用については、添付文書より、類天疱瘡などがあることを確認した。類天疱瘡は、自己免疫疾患の一つであり、皮膚や粘膜に水疱やびらん、紅斑などが現れる疾患である。このような症状が出ていないか確認することもモニタリングの1つだと教えていただいた。効果については、インタビューフォームの臨床成績より、HbA1cをどのくらい低下させるかについて調べた。およそ、0.8程度を低下させる効果が期待できることがわかった。実際に処方前後では、同様の変化が見られており、効果が発揮されていると考えた。今後の薬物療法の検討については、患者さんが運動を始めようとしていることも踏まえ、薬の増量よりも、運動療法や食事療法も含めて、総合的に様子を見ていく可能性が高いと推測した。

向精神薬に関する記録の取り扱いについても学んだ。第1種および第2種向精神薬の記録は、最終記載の日から2年間保存する義務があると確認した。一方で、第3種向精神薬については法的な義務はないものの、記録を残し、定期的に在庫確認を行うことが望ましいとされている。

日誌

日誌 06月30日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月30日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	トラゼンタの効果および副作用に関するモニタリングに取り組んだが、実際に行ってみると、考えることが多く、大変であることを実感した。しかし、これがしっかりできるようになれば、薬剤師として本当にかっこいいなと素直に思った。モニタリングをやる機会があれば行っていきたい。
添付資料	
薬剤師のコメント	>患者さんの生活を把握することが、小さな変化に気づく手がかりとなることを学んだ。 すみません、やっていることだけ書くと『トマトの収穫』になってしまいますが、患者さんの生活（生き方・住まい方）を知る⇒地域包括ケア添付の図の植木鉢の部分を学んでもらいました。あの患者さんにとって生き甲斐ってどんなものだったか、、、感じ取ってもらえると嬉しいです。 >薬剤師として本当にかっこいいなと素直に思った。 そう思ってもらえるのは嬉しいな。ぜひ、そうなってくださいね！ 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	0000200941.png

日誌

日誌 07月01日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.9 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	健康セミナー準備
		健康セミナー準備
	10:00	ドラッグエフェクト
		服薬指導
	11:00	薬歴
		薬歴
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	健康セミナー準備
		健康セミナー準備
	14:00	健康セミナー
		健康セミナー
	15:00	がん
		がん
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

日誌

日誌 07月01日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

クラスエフェクトとドラッグエフェクトについて学んだ。クラスエフェクトとは、同じ種類の薬に共通して見られる効果のことであり、一方、ドラッグエフェクトは、同じ薬効分類に属していても、特定の薬に固有の作用や特徴を示すことである。例えば、DDP-4阻害剤には多数の薬が存在するが、スイニー錠は1日2回投与であるが、ネシーナ錠は1日1回の投与である。DDP-4阻害剤としての血糖降下作用はクラスエフェクトだが、投与回数などの違いはドラッグエフェクトと考えられる。

今後実施予定の健康セミナーに向けて、発表内容に関する情報収集を行った。テーマは冷却用品についてであり、熱中症予防や夏場の快適な生活に寄与する商品について調べた。まずは、自分でインターネットの情報をもとに、ネッククーラーや手のひら冷却器、冷感スプレーなど、いくつかの商品をピックアップした。指導薬剤師の方からある程度自分で考えたら、他の人と話してみると良いというアドバイスをいただき、他の実習生や医療事務の方と話してみた。自分では見つけられなかった商品を得ることができ、視野が広がった。商品を紹介するだけでなく、その商品が効果的なのかという視点で調べることを教えていただいた。質問を受けた際に、根拠に基づいて説明できるようエビデンスを調べた。調べるほど、疑問が浮かび、引き続き調べていく。

緑内障の患者さんの服薬指導を担当した。発声が困難であったため、ユアトーンという喉頭の代わりに振動音を使って声を出す機器を使用してコミュニケーションを取っていた。Yes/Noで答えられる閉じた質問を中心に情報を引き出すと良いと教えていただいた。ミケルナ配合点眼液が処方されていた。添付文書から、 β -受容体遮断により気管支平滑筋収縮作用が起こり、呼吸困難などの症状についてや、他に使用している点眼液の有無も確認できると教えていただいた。

ヒアルロン酸ナトリウムPF点眼液0.1%の使用方法について教えていただいた。この点眼液は防腐剤無添加であるため、キャップを外したら直後に点眼するのではなく、1回押して、プシュッと音がした後に使用する。

日誌

日誌 07月01日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月01日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	クラスエフェクトを優先的に学習し、徐々にドラッグエフェクトに対応できるようになりたい。 服薬指導では、ユアトーンを使用していたため、患者さんの言葉を聞き取ることが困難だった。聞き返すことに気が引けてしまった。閉じた質問を意識して次は投薬したい。また、新規で点眼薬が処方されたいが、他の点眼薬の有無を確認することができなかった。点眼薬の新規処方があった場合、確認していく。
添付資料	
薬剤師のコメント	すばらしい。よく調べましたね。あの機械ユアトーンっていうんですね。初めて知りました。 私も調べてみたら弱点もいくつかあるみたいですね。腹式呼吸を利用していたり、呼気を利用していたりする点から考えられる。あの機械の性質まで理解できるとなお面白いかも。 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月02日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 37.1 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	エフィエント
		エピペン
	10:00	エピペン
		服薬指導
	11:00	調剤
		服薬指導
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	避妊薬
		プロトコル
	14:00	プロトコル
		会議
	15:00	服薬指導
		コミュニケーション
	16:00	薬歴
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

日誌

日誌 07月02日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

ローディングドーズについて教えていただいた。ローディングドーズとは、薬物療法の開始時に、通常の維持用量よりも多くの薬を投与することで、できるだけ早く血中濃度を治療域に到達させる目的で行われる方法である。具体的な例として、エフィエントが挙げられる。添付文書を確認したところ、「通常、成人には、投与開始日にプラスグレルとして20mgを1日1回経口投与し、その後、維持用量として1日1回3.75mgを経口投与する」と記載されていた。

エピペンの使用方法について確認した。実物を目にするのは初めてだった。具体的な手順として、まず青色の安全キャップを上を外し、太ももの前外側に垂直に当て、カチッという音がするまで押しつけて注射する。そのまま数秒間保持する。説明する際には、患者さん本人や家族だけでなく、関わっている周りの人にも説明する必要がある。

高血圧の患者さんの服薬指導を実施した。服薬していない日が見られたため、薬を飲んでいない日があるか質問した。患者さんは以前別の医療機関を受診しており、残薬の可能性が考えられた。また、3日に1回服用していない日があるといったケースも想定される。段階的に質問を行い、予測される回答パターンを考慮しておくことで、情報を引き出せると指導薬剤師の方から教えていただいた。

プラミペキソールが新たに処方された患者さんの服薬指導を実施した。処方元は腎臓内科であり、この薬が医師の専門領域外であったため、効果が適切に現れるかどうかを薬局側がモニタリングする必要があると教えていただいた。

がん患者の服薬指導を実施した。抗がん剤を治療を受けている患者さんであったため、副作用が出ていないか確認した。

アレンドロン酸35mgの処方日数が異なっていたため、疑義照会プロトコルを入力し、FAXで送付した。

日誌

日誌 07月02日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月02日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>高血圧の患者さんに対して、コンプライアンスの低下が疑われたため、「飲んでない日ありましたか」と質問した。しかし「ない」と答えられた時点で、終えてしまった。残薬が手元にある可能性や、本人が飲んだつもりになっているパターンもあるので、もう1歩踏み込んだ質問をしていく。</p> <p>プラミペキソールのモニタリング方法について、まだ確認途中なので、引き続き調べていく。</p> <p>がんの患者さんに対して、放射線治療が怖いと前回の薬歴に記載されていたため、今回の服薬指導で聞き取りたいと思っていた。しかし、雰囲気からその話題に触れない方が良く感じてしまい、話題にすることができなかった。</p> <p>服薬指導で触れた、シクロスポリン、トリクロルメチアゼド、クエンメット配合錠、プラミペキソールについて、添付文書や患者向け医薬品ガイド(該当があれば)、今日の治療薬より、適応、用法用量、副作用、使用上の注意、作用機序などについて確認する。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>コンプライアンスの確認も、次の日の日誌の内容と同じで直球勝負が難しい範疇かもしれません。</p> <p>飲み忘れていることを指摘されたとき、自分がどんな気持ちになるのか考えてみるのも良いかもしれませんね。さらにその上で、自分がどんな聞かれ方をしたら答えやすいのかも考えてみましょう。</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月03日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 37.1 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	薬歴
		薬歴
	10:00	調剤
		服薬指導
	11:00	薬歴
		調剤
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	フィードバック
		フィードバック
	14:00	フィードバック
		フィードバック
	15:00	フィードバック
		服薬指導
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(2)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月03日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

水剤の調剤を実施した。処方、「トラネキサム酸シロップ5% 12mL 1日3回 5日分」であった。12mLは製剤量であり、全量は60mL (12mL×5日分) となる。また、服用回数は15回分 (1日3回×5日分) となるため、1回量は4mL (60mL÷15回) である。計量カップに、1回量の4mLの目盛りに線を引いた。さらに、患者さんが使用しているうちにその線が消えないようにする工夫として、線の上にセロハンテープを貼る方法があることを教えていただいた。

糖尿病の患者さんの服薬指導を担当した。血糖について確認した。血糖についていきなり尋ねると、患者さんが身構えてしまうことがあると教えていただいた。そのため、比較的話しやすい内容から始め、自然な流れで血糖値の話題に移っていくよう意識して会話をする重要性を学んだ。

風邪の患者さんの服薬指導を担当した。具合が悪そうだったので、無理に多くの話をするのではなく、必要な内容に絞って行った。現病歴に不整脈との記載があったことから、どのような不整脈かを尋ねることもできると教えていただいた。

昨日担当した患者さんの薬歴のフィードバックを受けた。プラミペキソールについて、腎機能が低下している患者さんにレストレスレッグス症候群の成人量で処方されていた。そこで、腎機能が低下している患者さんの投与量が、正常な人の場合の時、どのくらい投与されていることになるのかGiusti-Hayton法 (ジュスティ-ヘイトン法) で計算した。その結果、およそ2倍の量が投与されている計算になった。また、どのくらいで効果や副作用が出てくるのか計算した。添付文書より半減期を確認し、計算したところ、約1週間ほどであった。

昨日担当したがんの患者さんの薬歴のフィードバックを受けた。患者さんの検査値を確認すると、白血球数の低下があり、免疫力の低下による感染リスクが高まっていることが考えられる。そのため、手洗い・うがいやマスクの着用などの感染予防策を患者さんに伝えることも可能であると教えていただいた。

日誌

日誌 07月03日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月03日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>服薬指導をする際に、確認事項に意識が向きすぎてしまい、どうしても質問がストレートになりすぎていた。患者さんの立場に立つと、一方的な質問ばかりが続くと、話にくさを感じる可能性がある。話の流れを作っていくように意識していきたい。</p> <p>薬物動態学で学んだ計算をあまり覚えていなかった。学んだ計算が、臨床の現場で生かされていることをより実感した1日だったので、今週は薬物動態学の計算を復習する。</p> <p>服薬指導で触れた、メトグルコ、グリメピリドについて、添付文書や患者向け医薬品ガイド(該当があれば)、今日の治療薬より、適応、用法用量、副作用、使用上の注意、作用機序などについて確認する。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>確認事項認識が行くようになったと言うのは成長なんだと思います。ただ目の前にいるのは生の患者さんです。もう通りにならないのか面白いですよね。</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月04日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 37.1 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	会議
		在宅
	10:00	在宅
		吸入薬練習用
	11:00	調剤
		会議
	12:00	調剤
		調剤
	13:00	調剤
		休憩
	14:00	休憩
		健康セミナー準備
	15:00	休憩
		服薬指導
16:00	薬歴	
	日誌	
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (2)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(1)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月04日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

B型肝炎の患者さんの在宅訪問を実施した。この患者さんは、他の医療機関からニトロペン舌下錠が処方されており、その服用方法について一緒に確認を行った。ニトロペンは狭心症発作に使用する薬であり、舌の下に置いて服用する。血管拡張による血圧低下により、立ちくらみやめまいを引き起こすリスクがあるため、必ず座った状態で服用する必要があることを説明し、患者さんと一緒に正しい服用方法を確認した。

在宅関連で、服薬カレンダーについて教えていただいた。これまでは飲み忘れを防ぐためと捉えていたが、実際にはコンプライアンス向上だけでなく、薬剤師が薬のアセスメントをするためのツールであることも教えていただいた。服薬カレンダーから、いつ飲めてないかが一目でわかるため、評価しやすい。

インスリン注射に関する問題を指導薬剤師の方から出題された。300単位のインスリン注射を、1日1回8単位で使用する場合、何日分になるかという内容であった。重要なのは、投与前に空打ちが必要であり、その際に2単位が消費されることである。このため、1回の注射で実際に使用する単位数は10単位となり、処方日数は30日分となる。

レスピマット操作練習用キットを使い実際の使用手順を確認した。特に重要なポイントは、カートリッジをしっかりと奥まで挿入することである。吸入薬にはpMDI（加圧定量噴霧式吸入器）とDPI（ドライパウダー吸入器）とSMI（ソフトミスト吸入器）がある。

軟膏の調剤では、リドメックスコーワ軟膏0.3%とヘパリン類似物質油性クリーム0.3%を混合した。混合の前には配合変化の有無を確認してから調剤した。

皮膚科を受診された患者さんの服薬指導を実施した。新規に処方された薬があったため、用法用量についてしっかり説明した。患者さんとの会話もたくさん取ることができた。

日誌

日誌 07月04日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月04日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>皮膚科を受診された患者さんから、ネリゾナユニバーサルクリームについて「これは強い薬なんですか」と質問を受けたが、ステロイドの強さについて覚えていなかった。strongやvery strongなどの分類があることは理解していたが、実際にどの薬がどのランクに該当するか覚えていなかった。患者さんからの質問も多い分野であるため、確認する。</p> <p>グレープフルーツにより阻害される代謝酵素はCYP3A4であるが、もう一つのトランスポーターの方を調べておく。</p> <p>本日触れた、ニトロペン舌下錠、リドメックスコーワ軟膏、ヘパリン類似物質油性クリーム、フェキソフェナジン、ネリゾナユニバーサルクリームについて、添付文書や患者向け医薬品ガイド(該当があれば)、今日の治療薬より、適応、用法用量、副作用、使用上の注意、作用機序などについて確認する。ヘパリン類似物質油性クリームについては、添加物についても確認する。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>ちなみに、空打ちの単位数は「2」単位と覚えるのは危険です。3単位のものも存在しますのでご注意ください。</p> <p>内服薬と異なって、外用剤はその使い方で効果が変わることを実感できたのではないのでしょうか。引き続きいろんなものに触れてみてください。</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月05日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 37.1 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月05日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 07月05日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月05日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月06日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 37.3 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月06日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 07月06日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月06日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	